二本松市議会

真誠会だより

2019.3月発行
発行者
真　誠　会
〒964-8601 二本松市金色403-1
TEL：0243-55-5143
責任者 平塚與志一

平成31年度一般会計予算総額 342億445万1千円

市民が主役
いのち輝く二本松
市民とともに

桜の郷二本松に春が来た。日増に春のいぶきが感じられ、霞ヶ城公園の桜をはじめまもなく桜花繚乱さくら色にそまりその美しさにだれもが勇気と感動をもらい心が癒される季節となりました。

平成三十一年度一般会計当初予算総額は、三四二億四四五万一千円となり新年度の予算を決定する三月定例会もすべての議案が慎重審議のなか可決承認されました。

今年度は新市総合計画の四年目にあたり計画されている四つの基本目標「子供や若者の未来を創るまち」・「郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち」・「いつまでも元気で生きがいのもてるまち」・「助け合い支え合い安全に安心して暮らせるまち」の目標達成に向け私ども「真誠会」は一丸となり市民皆様方と共に鋭意努力してまいります。

年次計画による各小中学校普通教室に電子黒板設置等教育環境の整備はじめ高齢者公共交通運賃無料化等の新施策など子育て支援・障がい者福祉の充実など幼児から高齢者まですべての市民が幸せを感じ安全で安心なそして豊かな暮らしが実感できる市政・人口減少対策のための長命工業団地整備により企業誘致と雇用確保など教育・人材育成などにも積極的に推進し更に新事業として温泉観光施設整備実施計画や、安達ヶ原ふるさと村公園整備、大山忠作美術館開館十周年事業なども実施されます。また、インバウンド誘客による観光交流人口増加を図る観光事業、観光拠点整備による二本松城跡総合整備事業など地域経済活性化に向け重点施策として、五十年・百年先を見据え「持続可能な自立した自治体」に向け市民皆様と共に活力に満ちる豊かで賑わいのある二本松市実現のため、今後共より一層のご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

真誠会代表質問

真誠会会長
平塚與志一

産業建設常任委員
議会運営副委員長
安達地方広域議会議員
二本松市錦町二―二五一
電話〇二四三―二三―二一九七

二本松市の新規自衛隊募集の対応について

問　二本松市は、新規自衛隊募集に対して、どのようなをしているのでしょうか。

答　自衛官は、我が国の平和と安全を守り、自国の防衛と世界平和維持のため、重要かつ崇高な任務を担っております。昨今、大規模災害が多発しておりますが迅速な救助活動に対して、日本全国から感謝と賞賛が寄せられ、その存在の大きさ・責任の重さについて、認識をあらたにしたところであります。

自衛官の募集に関する市の対応といたしましては、自衛官募集相談員を九名委嘱し上げ、募集にご尽力をいただいているところであり、そのほか、市の広報紙への募集案内の掲載や、公共施設への募集ポスターの掲示などおこなっております。

なお、住民基本台帳法第十一条に基づき閲覧を許可し、閲覧事項の記録を認める対応をしております。

本市の農業政策について

一　専業農業者の人数は、または平均年齢は。

二　本市生産品売り上げ上位は。

三　農業者への指導対応は、どのようになっているのか。

四　新たな生産作物は、考えられないのか。

五　十年後の本市の農業生産をどのように考えているのか。

答　一点目　専業農家戸数が四七二戸、基幹的農業従事者の平均年齢が七十一歳となっております。

二点目　本市の農業産出額の合計は、九十六億二千万円でありまして、一位が畜産の三十五億九千万円、二位が野菜の三十二億九千万円、三位が米の十八億三千万円、四位が果樹の四億九千万円、五位が花卉に一億八千万円となっております。

三点目　栽培技術の指導につきましては、県安達農業普及所が中心となり、ＪＡ等の関係農業団体と連携して対応しているところであります。

四点目　ＪＡ等と連携し、ネギの栽培面積の拡大を積極的に図るよう検討を進めております。このネギにつきましては、近年需要が伸びており市場からの要請もあること、小規模農家、高齢者にも取り組みやすいことなどの理由から推進しており、市といたしましても取り組んでまいりたいと考えております。

五点目　今後、さらに農家戸数は減少し、農業従事者の高齢化はより進んでいくことが予想されます。

人・農地プランをベースとした地域全体での農業の取り組みづくりが重要であると考えております。

一般質問

真誠会副会長
佐久間好夫

総務市民常任委員会
議会運営委員
市議会だより編集委員会
二本松市太田字鷹巣二一五
電話〇二四三―四七―三六〇六

今後、農家の法人化、協業化も視野に入れながら、国外への輸出等も含めた新たな販売先の確保や、六次化による商品開発、加工事業などの新事業領域への進出、異業種との連携等が必要になってくると思われます。

二本松駅前及び本町通のイルミネーションについて

問　二本松駅前及び本町通のイルミネーションＬＥＤ照明に補助金等を活用して、もっと華やかにならないか。

答　イルミネーションのリニューアルにつきましては、実施主体の意向を確認するとともに、より駅前の華やかさ、温かみを増すため、未設置区間である本町緑地から二本松駅にかけての県道二本松停車場線についても新たにイルミネーションの設置を検討していただくよう協議を進めてまいりたいと考えております。

安達東高校の統合について

問　先日三年後に安達東高校が統合されると新聞報道がありましたが、市はどのようにとらえておられるのか。

答　二本松工業高等学校、安達東高等学校が二〇二三年度の統合予定年度で職業教育推進校として再編されることが含まれております。

しかしながら、市内三校の高等学校について、特色ある教育機関として長らく地域を支えるすばらしい人材を輩出してきた歴史があります。

このような中、今回の県立高等学校改革前期実施計画の公表内容は、卒業生、在校生をはじめ、市民にとっても甚だ遺憾であると言わざるを得ない状況であります。

県教育委員会に対しては、市民の皆様が納得できる改革となるよう要望してまいります。

インフルエンザ感染状況と予防対策について

問　十二月に入り急速に患者が増えた。一月には集団感染が発生し保育所から幼稚園まで六園・小学校八校・中学校二校・幸いにも高齢者介護施設は無かった。学校等では学年閉鎖もあり、市は、予防接種の助成、小・中学校等へのマスク配布を行った。

再生可能エネルギーの進捗率等について

問　市民主体の電力会社設立を目指し、経済産業省へ申請、三月中に認可が下りる予定。一般家庭の固定買い取り制度期間が満了した個人からの電力買い取りは検討する。さらに、一般家庭の太陽光発電余剰電力の蓄電池助成については、今後の普及に伴い行政として今後の研究課題となる。

東和地域の用水路整備について

問　戸沢四区地内・針道笹ノ田地内の用排水路は、地区代表より要望されており、両地域と協議し、改修の必要性等、今後、農家の法人化、協業化も視野に入れながら、国外への輸出等も含めた新たな販売先の確保や、六次化による商品開発、加工事業などの新事業領域への進出、異業種との連携等が必要になってくると思われます。

二本松駅前及び本町通のイルミネーションについて

問　二本松駅前及び本町通のイルミネーションＬＥＤ照明に補助金等を活用して、もっと華やかにならないか。

答　イルミネーションのリニューアルにつきましては、実施主体の意向を確認するとともに、より駅前の華やかさ、温かみを増すため、未設置区間である本町緑地から二本松駅にかけての県道二本松停車場線についても新たにイルミネーションの設置を検討していただくよう協議を進めてまいりたいと考えております。

安達東高校の統合について

問　先日三年後に安達東高校が統合されると新聞報道がありましたが、市はどのようにとらえておられるのか。

答　二本松工業高等学校、安達東高等学校が二〇二三年度の統合予定年度で職業教育推進校として再編されることが含まれております。

しかしながら、市内三校の高等学校について、特色ある教育機関として長らく地域を支えるすばらしい人材を輩出してきた歴史があります。

このような中、今回の県立高等学校改革前期実施計画の公表内容は、卒業生、在校生をはじめ、市民にとっても甚だ遺憾であると言わざるを得ない状況であります。

県教育委員会に対しては、市民の皆様が納得できる改革となるよう要望してまいります。

真誠会幹事長
佐藤　有

文教福祉常任委員
安達地方広域議会議員
二本松市蓬田三七六
電話〇二四三―二三―六二三六

観光振興について

第六十四回二本松の菊人形の総括について

問　「戊辰一五〇年信義と二本松少年隊」をテーマとし菊人形ゾーンを会場全体に配置し洋菊のマムフェスティバルも同時開催するなど、市内各学校でのプランター菊の協力をいただき、道の駅や交流センターなどに彩り豊かに飾らせた。伝統の菊人形や菊花品評大会の展示・洋菊を取り入れ来場者も、昨年を上まわる八万人以上の来場者であった。

二〇一九年全国さくらシンポジウムについて

答　四月十一日市民会館において開催される、本市の観光大使のオペラ歌手樋口達哉氏によるオープニングセレモニーと、芥川賞作家であります玄侑宗久氏による桜を演題とした記念講演など、その後日本花の会主幹和田博幸氏をコーディネーターとしてパネルディスカッションを予定している。尚交流会は、パレスかねすいで開催する。

仮設住宅撤収後のグランド整備について

撤収進捗状況と整備状況について

問　大手農村広場・建設技術学園跡は昨年五月に原形復旧をした。塩沢・永田の各農村広場、杉田住民センター

十二日は、市内二コースに分け現地見学会を実施する。それぞれ霞ヶ城公園より智恵子の生家および道の駅安達の万燈桜コースと安達ヶ原公園中島の地蔵ざくら、合戦場のしだれ桜を巡るコースとなっている。

答　十二日は、市内二コースに分け現地見学会を実施する。それぞれ霞ヶ城公園より智恵子の生家および道の駅安達の万燈桜コースと安達ヶ原公園中島の地蔵ざくら、合戦場のしだれ桜を巡るコースとなっている。

国・県事業整備も研究し年次計画の中で進める。

東和地域市道整備について

問　市道―「北戸沢線」―「針道・西谷線」は生活主幹道路として取り組む、―「佐勢ノ宮・五反田線」―「祭田線」―「一本松線」―「白髭橋拡幅」―「太田喜六田地区の改良」現地調査し整備を検討する。

林道整備について

問　「柿ノ作線」の「笹ノ田・大沢線」に接続までは約四〇〇ｍで今後引き続き検討する。

減容化事業に係る運搬経路を東和地域市民に示せ。

問　現在は環境省で検討中であり策定後に示すこととなる。

ため池除染について伺う。

問　市全体で五〇ケ所あり、実施設計・詳細設計を基に有効な除染工法を検討する。

東和中学校カヌー部指導者について

問　カヌー経験教諭や指導者は県カヌー協会と協力して持続可能な体制整備に努める。

長命工業団地造成事業について

問　平成三十一年度造成工事完了する、その後、岩代・東和地域に企業のニーズに対応し、適地調査を実施する。

空き家対策について

問　「空き家バンク」登録とウェブサイトや情報誌でＰＲし移住者への情報提供をはかる。

ラウンド、杉内多目的運動広場、郭内公園については、十八年九月完了の予定であるが、地域の要望等により若干遅れる。安達運動場については、年度内完了に向け順調に進捗している。尚旧平石小学校跡は、退去が困難な方々の集約施設となる。

三　道路行政について

問　市道矢ノ戸・川口線の改修について

答　旧県道原町・二本松線であり杉林・竹林の中を通り阿武隈川右岸を通る風光明媚な道路であり主に地域住民の生活道路として交通量も少ない状況であるがファミリーサイクリング大会のコースとしてイベント等にも活用されているが、全面改修は難しい状況である。道路パトロール等により道路状況を把握し、路面の補修や積雪時や伐採・豪雨による増水後の堆積物土砂等の撤去等、環境整備と道路維持管理に努める。

真誠会経理

坂本　和広

総務市民常任委員会
市議会だより編集委員会

二本松市本町一―一一三―二
坂本マンション二三号
電話〇二四三―二四―七八四四

副議長

堀籠　新一

文教福祉常任委員会

二本松市杉沢字清ノ内一〇―一
電話〇二四三―五七―二七三七

提案　いくものと考えている。
　年額九十七億円にもなる二本松市民のエネルギー消費額を市内循環させて、市民の生活費抑制に寄与し持続可能な社会構造を構築する必要があります。

一　「福島県域連携推進協議会」の設立について

問一　設立内容と目的は

答　人口減少・少子高齢化に伴う諸課題に対し、自治体同士が連携することで相乗効果を生み出し、観光振興や交流人口の拡大、移住定住の促進を目指す。

問二　加盟自治体と総人口と二本松市の負担金は

答　福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯舘村、宮城県白石市、山形県米沢市の十一市町村・総人口五九五、四一一人。負担金は三十一年度三二二、〇〇〇円です。

問三　二本松市のメリットは

答　連携することで観光やまちづくり、移住定住促進の分野において広域的に推進ができ、図書館や体育施設等公共施設の相互利用、広域的な医療体制の連携や、災害時の相互連携など期待できる。

二　「こおりやま広域連携中枢都市圏」について

問一　二本松市も参加の意思を示したが、協議の結果と今後の対応は、また国からの財政支援は

答　加入が承認され平成三十一年度中の連携協約締結を目指す。特別交付税措置として一、五〇〇万円。

三　市町村長を対象に、防災力の強化のための「ふくしま防災塾トップ〝59〟」の内容と大規模災害対応は

答　災害発生から一週間先を見すえた目標管理型災害対応演習のほか、記者会見を通じて対応方針等を市民に伝える模擬記者会見などの演習が実施された。大規模災害に向けた対応として総合ハザードマップを五月号の広報配布に合わせ全戸配布する。

四　市職員の働き方改革について

問一　限られた時間の中で生産性を高め、より質の高い成果を上げる賢い働き方であるスマートワーク宣言を取り入れる考えは

答　現在の特定事業主行動計画で対応し、宣言については、他自治体の状況等も確認しながら今後の研究課題とする。

問二　職員自身が労働時間の長さや配置が決定できる制度のフレックスタイム制導入の考えは

答　住民の理解などで課題もあり、制度導入は県内自治体の状況を見ながら検討課題とする。

問三　定年を延長するための検討は

答　段階的に六十五歳に引き上げるための国家公務員法案が今後国会に提案される予定であり国の法制化の状況を注視しながら対応を検討する。

問四　教職員の過重労働が問題となっており、長時間労働を是正するために本市教育委員会の働き方改革は

答　教職員の安全確保と健康の保持増進を図り、快適な職場環境の形成を促進するための各種委員会を開催し、教職員が行う事務内容も見直し、省略又は簡素化を推進します。

五　二本松市まち・ひと・しごと創生総合戦略についても質問しました。

提案　自治センター跡地や歴史資料館の今後の利用方針について

問　自治センター跡地や歴史資料館の今後の利用方針と歴史資料館の今後の利用方針を伺う。

答　自治センター跡地は有料駐車場として整備し、歴史資料館に関しては、今回新しく建設予定の歴史観光文化施設へ収蔵品を移す予定で、図書館別館としての利用は考えていない。

提案　再生可能エネルギー推進事業について
人口減少対策として発電した電気を子育て世帯等へ安価で供給してはどうか。

答　（仮称）二本松電力のサービスメニューに一つとして検討されると考える。

問　〇円システム（リース方式で太陽発電を行うサービス）の検討の可否について

答　先進的事例について、二本松電力において検討されている。

提案　人口減少対策について伺う。

問　人口減少に備えて十年後・二十年後・三十年後の財政予想はあるか。

答　人口減少を踏まえた財政見通しの必要性を認識しており、次期総合計画の中で検討しなければならないと考えている。

提案　持続可能な財政予想による予算措置が必要です。

問　当市の空き家対策について伺う。
空き家の解体費用補助や解体後の土地に対する優遇策等について伺う。

答　空き家解体に対する補助制度はないが、空き家対策協議会において協議し研究し、解体後の土地の税制優遇策等についても関係各課と研究して参ります。

提案　他市の事例を研究して将来にわたり廃墟が残らない施策が必要です。

会派活動

全国地方議員サミット二〇一八　議会のチカラで日本創生

二〇一八年七月十一日と十二日の二日間にわたり、早稲田大学大隈記念講堂で開催され真誠会所属議員として参加して参りました。

講義内容は、市民参加議会として、ママさん議会を開催されている議会や、市民フリースピーチを開催されている議会の取り組みについてお聞きし、また議会広報誌で、消防関係や子育てママさん、商店街の方々などテーマを決めてフリートークを掲載し、市民の皆様の積極的な街づくり参加に活用している議会の手法を学びました。

議会改革

平成三十年議会報告会が開催されました。

【第二回議会報告会開催概要】

開催日	対象地区・地域	会場	参加者数	会派出席議員
十一月十九日（月）開始時間 午後六時三〇分	二本松・塩沢地区	二本松住民センター	十四人	堀籠新一副議長
十一月二十日（火）開始時間 午後六時三〇分	安達地域	安達公民館	十一人	平塚與志一議員、佐久間好夫議員
十一月二十一日（水）開始時間 午後六時三〇分	岳下・杉田地区	岳下住民センター	四十五人	堀籠新一副議長
	岩代地域	岩代公民館	三十五人	佐藤　有議員
十一月二十二日（木）開始時間 午後六時三〇分	石井・大平地区	石井住民センター	二十五人	平塚與志一議員、佐久間好夫議員
	東和地域	東和文化センター	二十三人	坂本和広議員

※参加者合計　一五三人

平成31年度一般会計予算主な概要

平成31年度当初予算総額342億445万1千円を歳入歳出それぞれにおいて新総合計画の4つの基本目標の実現に向けて事業を積極的に推進する。東日本大震災及び原子力災害からの復旧・復興に係る施策を引き続き進めるとともに、国、県の施策や経済対策・財政措置等の動向に注視しながら編成されております。

新総合計画の4つの基本目標の主な予算

子どもや若者の未来を創るまち

- 病後児の保育施設を開設するための助成　11,247千円
- 各小中学校普通教室に電子黒板を整備する経費　23,824千円
- 油井小学校校舎増築実施設計業務　19,694千円
- 定住促進住宅取得奨励金の支給等人口減少対策事業　27,900千円
- 学童保育事業　155,197千円
- 産後ケア事業の日帰りケアに加え宿泊ケアを実施する経費　3,184千円
- 二本松駅南地区整備事業　41,603千円
- 杉田駅周辺整備事業　222,621千円
- 安達駅西地区整備事業　315,614千円

郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち

- 温泉地観光施設整備事業の実施設計等　9,223千円
- 安達ヶ原ふるさと村公園整備事業　98,866千円
- 二本松城三ノ丸御殿復元資料調査業務　3,000千円
- 大山忠作美術館開館10周年特別企画展「新五星山展」開催経費　7,288千円
- 市民との協働による地域づくり推進事業　40,000千円
- 地域担い手育成総合支援事業　21,233千円
- 農業6次産業化推進事業　9,956千円
- 店舗等施設整備費補助金及び繁盛店づくり支援事業補助金　18,000千円
- インバウンド誘客促進事業　20,817千円
- DMO推進事業　36,270千円
- 二本松城跡総合整備事業観光拠点施設整備　824,440千円

いつまでも元気で生きがいのもてるまち

- 高齢者公共交通運賃無料化事業　14,853千円
- タクシー助成実証実験事業　7,500千円
- 地域グラウンド修繕整備　49,934千円
- パークゴルフ場整備事業　10,000千円
- 温泉等利用健康増進事業　32,843千円
- 生活習慣病予防事業　107,315千円

助け合い、支え合い、安全に安心して暮らせるまち

- ホールボディカウンターによる内部被ばく線量調査、ガラスバッチによる積算放射線量調査等放射線対策事業　48,882千円
- 積込場及び仮置場への移送や仮置場の撤去等を行う放射能除染事業　4,415,848千円
- 米全袋検査や放射性物質の吸収抑制対策を行う農業原発事故対策事業　260,825千円
- ため池等放射性物質対策事業　462,000千円
- ふくしま森林再生事業　100,000千円
- 道路等側溝堆積物撤去事業　390,000千円

2019 全国さくらシンポジウム in 二本松

春の訪れとともに桜が咲いてくる日一日と暖かさも増し四季のスタートである。自然がおりなす生命（いぶき）が肌で感じられる季節となりました。全国さくらの名所で毎年開催されている春のビッグイベントが今年は本市で開催されます。

編　集　後　記

昨年は、戊辰150年にあけくれ更には我が郷土が生んだ二本松藩士を親にもつ世界的歴史学者朝河貫一博士の没後70年でもありました。

昭和・平成・次は？何。まもなく新元号に改元される記念すべき大きな節目の年になります。

平成天皇がご退位され新元号に改まり新天皇がご即位なされ、総国民あげて奉祝したいものです。又、4月11･12日には、“ほんとうの空にさくら舞う”をメインテーマに全国さくらシンポジウム in 二本松が開催されます。全国各地より例年以上の観桜客が増えそうです。本市ならではのおもてなしをしたいものです。そして皆様方も市内の桜の名所に出かけて見ては、いかがでしょうか。新しい改元のスタートに何か希望が持てるかも。